

2010年1月

地震時大規模地すべりの事例研究 - 参加者公募 -

地震地すべりプロジェクト特別委員会 事例研究 WG

背景と趣旨

地震時の地すべりの発生機構やソフト・ハード対策について集中的に検討することを目的に平成21年2月より約三カ年の計画で地震地すべりプロジェクト特別委員会が設置されました。現在、技術的なアプローチに応じて八つの分科会毎の積極的な活動が展開されています。一方、分科会の横断的な取り組みとして、典型的な地震時地すべりを対象に総合的な討論を行うことは有益と考えられます。

そこで、特定の地震時地すべり地を選定し、その発生・運動機構や対策工の考え方等について多面的に分析し議論する事例研究ワーキンググループ(WG)を新たに企画することとなりました。本事例研究WGでは、地形・地質、物性値、地震時の地すべり運動の状況等が既に詳しく調査された地震時地すべりの事例を数箇所選定し、数値解析を含めた多様な検討手法を動員して対策に資する技術を検討します。種々の数値解析を用いた検討が一つの狙いですが、地形・地質、土質、地震動、水文といった多面的な議論に基づく発生機構の分析に力点を置くものと御理解ください。

検討対象の地すべり

本WGでは、発生機構の異なる以下の事例を対象として挙げています。

ケースAとして東竹沢地区の地すべり(2004年新潟県中越地震):第三紀の流れ盤斜面など岩盤中の層理面または強風化岩が地震中に強度低下した事例

ケースBとして仁川地区の地すべり(1995年兵庫県南部地震):未固結の砂質土等ゆるい崩積土・盛土が地震中に流動化した事例

また、これらの地すべりとは異なる特徴を有する地すべりを対象として追加することも有益と考えられます。そこで、参加者からの御提案があれば、地盤・地質情報の有無、事業者の承諾の可能性、参加者数などを勘案し候補として検討させていただきます。ただし、工程に制約があるため参加申し込みの時点で、上記の点について具体的な情報を事務局まで連絡(表2)いただければ、ありがたく存じます。

概略の予定

- ・平成21年12月～3月:本企画への検討参加者を公募する
- ・平成22年4月:参加者一同の第一回会合(現場見学会を兼ねる可能性あり)を開催する
- ・平成22年4月～8月:技術資料(各種調査・計測・試験結果等)の整理及び解析
- ・平成22年7月～8月頃:中間報告(例えば地すべり学会研究発表会などにおける報告を検討中)
- ・平成23年7月～8月頃:最終報告(例えば地すべり学会研究発表会など)

成果の公表

地震地すべりプロジェクト特別委員会の報告書に含める他、別に技術資料としてまとめることを想定しています。その他、事例研究を題材とした公開シンポジウムなどを開催する等、検討しています。

参加申し込み方法

表1を記載の上、平成22年3月31日までに事務局の倉岡までメールにて送付ください。
ケースA・B以外に御提案がある場合はお手数ですが表2についても記載をお願いします。

【申込み及び連絡先】

倉岡千郎(日本工営株式会社 総合技術開発部) メール：a4982@n-koei.co.jp 電話：
029-871-2092

【受理メールが2日以内に返信されない場合】

なお、申し込みいただいた方に受理メールを返信します。万一、受信トラブルなどで受理メールが2日以内に返信されない場合は、お手数ですが以下に返信がない旨メールを送付ください。

群馬大学大学院工学研究科 若井明彦(本WG主査) wakai@ce.gunma-u.ac.jp

表1 参加申込書

氏名	
所属	
連絡先	
事業所名	
住所	
メール	
電話	
地すべり学会 会員番号*	
事例研究において予定されている技術的なアプローチ*** (例：数値解析、統計解析、地形・地質解析等)	
事例研究において御自分が対象としたい地すべり*** (ケースA、ケースB以外を提案される場合は以下の表2に情報を記載してください)	

※申し込み時点で非会員でも結構です

※※決まっていなければ空欄で結構です

表2 ケースA・B以外の地すべりの提案***

(1)地すべり地区名と事業者	
(2)ケースA・Bの地すべりと異なる特徴	
(3)事業者の許可の可能性 (例：既に許可がある、既に情報が公開されており問題ないと考えられる、事業者これから問い合わせる)	
(4)利用可能な情報の状況 i. 公表または非公表の論文または報告書の出版状況 ii. ボーリング調査結果等に基づく地質情報の量と質 iii. 物性値(すべり面、地すべり土塊、不動層)等の調査データの量と質 iv. 地下水位及び動態観測のデータの有無 v. 崩壊前後の地形データの量と質	

※※※ ケースA・B以外に御提案がなければ記載の必要はありません

WG事務局 倉岡千郎, 酒井直樹, 田中頼博, 福岡浩, 若井明彦(WG主査) (50音順, 敬称略)